

# 山梨県の豊かな水資源の活用による持続可能な社会構築に係る 基本合意書の締結について

令和6年6月14日  
山梨県  
株式会社コーセー  
コーセーインダストリーズ株式会社

山梨県（県庁：山梨県甲府市、知事：長崎 幸太郎<sup>ながさきこうたろう</sup>）と株式会社コーセー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林一 俊<sup>こばやしかずとし</sup>）およびコーセーインダストリーズ株式会社（本社：群馬県伊勢崎市、代表取締役社長：小林 正典<sup>こばやしまさのり</sup>）は、山梨県南アルプス市に新たな生産拠点である「南アルプス工場」を建設するにあたり、持続可能な社会構築に向け、豊かな水資源を活用しながら三者で連携して取り組んでいくことに合意しました。

株式会社コーセーおよびコーセーインダストリーズ株式会社は、山梨県と南アルプス市との立地協定※1に基づき「南アルプス工場」の第一期建設を2024年7月に着工し、2026年上期中の稼働を計画しています。

両企業はグローバルな事業展開とともに、サステイナブルな社会の構築を追求する先進的な企業であり、南アルプス工場では、工場の建設段階から県営の水力発電所のCO<sub>2</sub>フリー電気「シン・やまなしパワー」を活用するとともに、米倉山電力貯蔵技術研究サイト（山梨県甲府市）において、やまなしモデルP2G（ピー・ツー・ジー）システム※<sup>2</sup>によって製造された山梨県産グリーン水素を工場の熱エネルギーの燃料として利用することとしております。

山梨県が誇る清らかな「水」を商品素材に活用していくとともに、地域で生み出すエネルギーを最大限に活用した「地産地消モデル工場」として、化粧品業界に適用する全国に先行する事例であり、三者連携してカーボンニュートラル社会の実現と地域の活性化に取り組んで参ります。

※1：山梨県、南アルプス市、株式会社コーセーの3者で令和元年6月7日締結

※2：再生可能エネルギー等由来の電力を活用し水の電気分解から水素を製造する技術

## <本発表内容に関するお問い合わせ先>

|          |                  |                  |      |
|----------|------------------|------------------|------|
| 山梨県      | 企業局新エネルギーシステム推進課 | TEL：055-234-5268 | （直通） |
| 株式会社コーセー | コーポレートコミュニケーション室 | TEL：03-3273-1514 |      |

## ■南アルプス工場の概要



|      |                       |
|------|-----------------------|
| 建設地  | 山梨県南アルプス市野牛島          |
| 敷地面積 | 111,525m <sup>2</sup> |
| 主要用途 | 化粧品工場(多品種 スキンケア製品中心)  |

### 【第一期建設】

|       |                      |
|-------|----------------------|
| ・延床面積 | 39,300m <sup>2</sup> |
| ・計画概要 | 地上 3 階 S 造           |
| ・従業員数 | 300 名程度              |
| ・投資額  | 250～300 億円           |
| ・着工予定 | 2024 年 7 月           |
| ・竣工予定 | 2026 年 2 月           |
| ・稼働予定 | 2026 年上期             |

# 山梨県の豊かな水資源の活用による持続可能な社会構築に係る基本合意



バリューチェーン全体で環境負荷を低減する取り組みを推進

## Step1 建設工事段階からのカーボンニュートラル推進

- 工場建設用電力に県営水力発電所のCO2フリー電気「シン・やまなしパワーふるさと水カプラン」を活用
- 水力100%の電力による建設工事段階からのカーボンニュートラルへの取り組みは国内初

## Step2 県産グリーン水素を活用した熱需要のカーボンニュートラル推進

- 工場の熱需要のカーボンニュートラル化に県産グリーン水素を最大限活用（水素利用は業界初）
- 配達水素からオンサイト水素へ段階的に領域を拡大し、2040年までに工場全体のカーボンニュートラルへ

## 地域資源を最大限活用したエネルギー地産地消モデルでのサステナビリティ工場のモデル化

- 「水」とそこから生まれる「エネルギー」を最大限活用するエネルギー循環型工場の確立
- 地域と共存共栄するモノづくり拠点を確立し、コスメティック分野における世界標準となるサステナビリティ工場へ
- 他工場への展開による製品のカーボンフットプリント拡大～完全カーボンニュートラル化へ
- ショールームを活用した普及啓発・将来的な人材育成の場としての連携